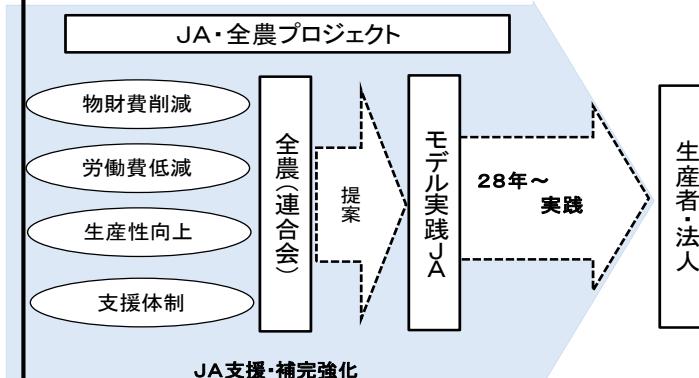
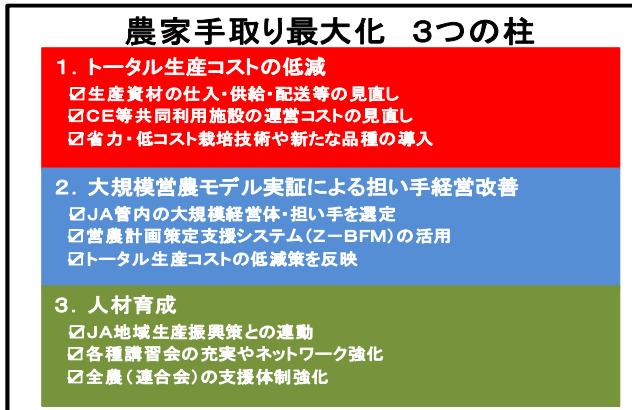


# トータル生産コスト低減の取り組み

- 平成28年度より全国の55JAで実証を開始する(農家手取り最大化の取り組み)
- 物貯費削減、労働費削減、生産性向上の取組内容をJAと共有して実践する
- トータル生産コストの低減と合わせて、大規模営農モデル実証による担い手経営改善、人材育成に取り組む



区分	対象作物	取組メニュー	変動費減		固定費減		全農の主な取り組み例
			物貯費	作業時間	収量・品質	物貯費	
肥料	共通	土壌診断	○	○			化学性に加えて、物理性診断推進
		低コスト肥料	○				PKセーブ、混合堆肥複合、鶏糞燃焼灰入り
		フレコン供給	○	○			
		満車直送	○				大型車での工場から農家への直送
		BB肥料担い手受注生産	○	○			BB肥料工場でのオーダーメイド肥料の生産
農業	共通	大型規格	○				約220品目
		担い手直送規格	○				7品目、水稻除草剤5ha分の直送
	園芸	体系防除	○				安価な水稻除草剤、大豆除草剤初期+畠間施用
		シエナリック農業	○				
資材	園芸	天敵農業	○	○	○		バンカーシート
農機	園芸	負けない商品	○				園芸用支柱、マルチ、防曇袋
	共通	レンタル農機			○		
		JAGループ独自型式			○		
施設	施設・園芸	中古農機			○		JAGループ農機検定・中古農機査定士
施設	施設再編		○			○	施設総合コンサル

区分	対象作物	取組メニュー	変動費同等～増加		固定費同等～増加		全農の主な取り組み例
			作業時間	収量・品質	物貯費	作業時間	
栽培	共通	生産管理システム			○		大規模営農モデル経営体での実証
	水稻	多収穫品種		○			飼料用・業務用(あきだわら他)
		作期分散・拡大		○			多様な品種導入
	麦・大豆	直播栽培	○			○	鉄コ種子大量製造機7か所設置、展示圃
		排水(給水)対策				○	FOEAS、土壤物理性診断の推奨
肥料	大豆	大豆狭畦栽培	○	○			
	園芸	境端朝対策		○			1~2月レタス、5~6月キャベツ、6~7月タマネギ
	共通	省力・低成本施肥技術	○				苗箱まかせ、流しみ施肥、3作1回施肥
農業	農業	省力防除技術	○				水稻除草剤の顆粒水口処理、豆つぶ剤
	共通	電気柵JA専用モデル		○		○	
		水稻水田センサ		○	○	○	大規模営農モデル経営体での試用
	園芸	遊休ハウス活用		○		○	簡易養液栽培(トロ箱)システム「ういすOne」
資材	園芸	生分解性マルチ	○				
		地中点滴灌水		○		○	全農式点滴灌水システム(根深ネギ)
	施設	高度施設園芸				○	ゆめファーム全農(土耕トマト40トン取り) ICT「アグリネット」による環境制御
農機	水稻	高密度播種育苗		○	○		密苗
	園芸	可変施肥			○	○	
		野菜収穫機			○		
	園芸	たまねぎ温風乾燥機				○	

# 大規模営農モデルの取り組み

- モデルJA管内の大規模経営体(61経営体)で大規模経営体による経営改善モデルを実証する
- 営農計画策定支援システム(Z-BFM)を活用し、土地生産性、労働生産性の向上により経営の強化を図る
- より収益性の高い水田営農モデルを実証するため、高生産性水田輪作の実証をおこなう(モデル55JAのうちの5JAで実証開始)

大規模営農モデル経営体の選定状況(平成28年6月現在)

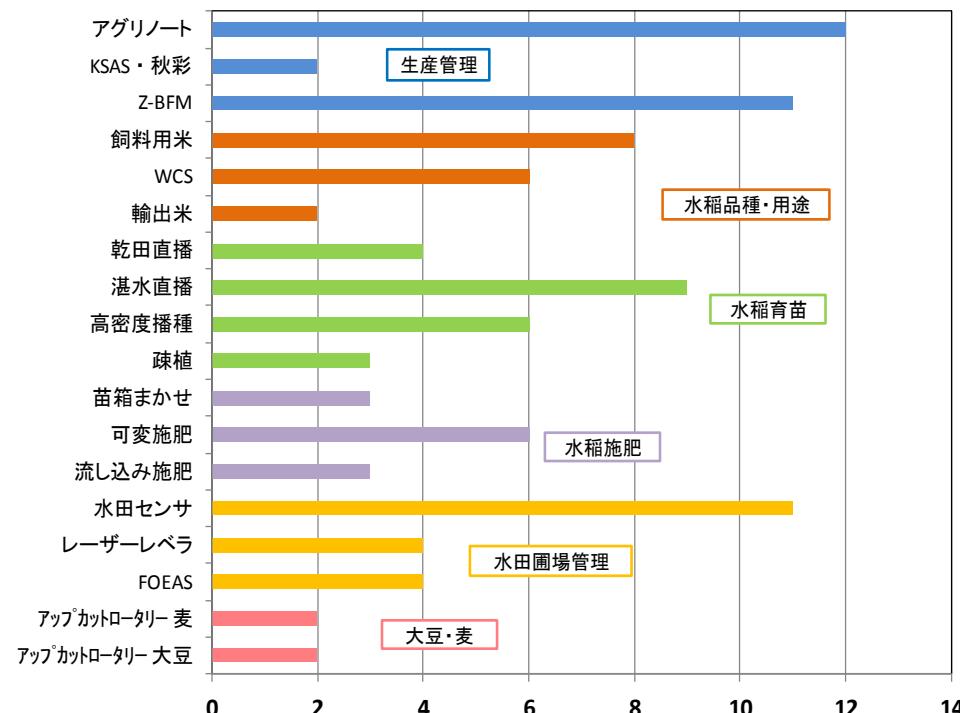
取組区分	取組県数	取組JA数	経営体数	経営体数の内訳			
				水稻単作	稻作複合	野菜他	確認中
手取り最大化	41	55					
うち、大規模営農モデル	33	40	61	2	37	5	17
うち、高生産性水田輪作	5	5	9		9		

経営体には一部作物部会を含む。

## 【高生産性水田輪作の取り組み】

- 水田の乾田化を行い、麦、大豆や野菜などを積極的に導入し、輪作により安定・多収をめざす**畑作物栽培**
- 主食用米だけでなく、飼料用米、加工用米、業務用米などを取り入れ、早生から晩生までの複合品種を導入して、低コストで安定・多収をめざす**水稻栽培**

## 稲作経営体における取組メニュー例



# 大規模営農モデル実証事例(平成25～27年度)

## 新潟 C法人：圃場(300か所)管理型経営の効率化

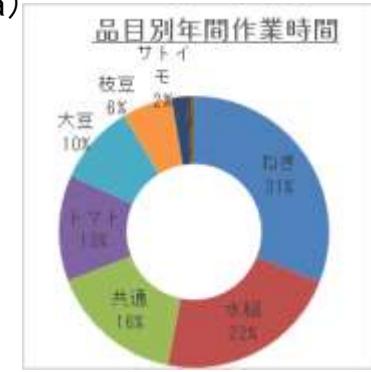
24年度(経営規模38ha、うち水稻30ha)

【粗収益】70百万円(半期)  
 【農業所得】▲2百万円(半期)  
 【経営課題】圃場が多い

【生産課題】粘質土で湿害・干害被害、冬季作業が少ない

27年度(経営規模38ha、うち水稻25ha)

【粗収益】63百万円  
 【農業所得】19百万円  
 【経営改善】Z-BFMでの改善  
     (調製作業が多い生食用ネギを加工用に)  
 【生産改善】FOEAS(大豆多収化)、機械化できるキャベツ、タマネギの導入



## 広島 D法人：中山間地集落営農における省力・低コスト経営

25年度(経営規模41ha、うち水稻37ha)

【粗収益】 38百万円(半期)  
 【農業所得】 ▲4百万円(半期)  
 【経営課題】野菜へのシフト  
  
 【生産課題】水稻約1万枚の育苗  
     ネギ収穫は手作業(収穫機高価)  
     作土層浅く(硬盤)、排水不良

27年度(経営規模42ha、うち水稻37ha)

【粗収益】 59百万円  
 【農業所得】 10百万円  
 【経営改善】ハウス導入により葉  
     菜類栽培  
 【生産改善】鉄コーティング湛水直  
     播3ha  
     ネギ収穫機レンタル  
     (手作業比2～3倍強)  
     FOEASの導入



レンタル農機によるネギ機械  
収穫作業